

# 図書館だより

No.23

2023（令和5年）10月13日

石岡商業高校 図書委員会

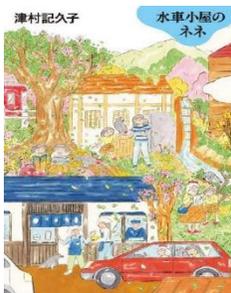


猛暑の大気を上書きするようにやっと涼風が訪れ、刈り取られた稲田の土手には、誇示するように曼殊沙華が燃え立ち、萩の花がこぼれる季節になりました。暑くて過ごしにくい夏にくらべて活動しやすい秋は、やる気も起こりやすく、集中力も持続しやすいでしょう。秋は夜が長く一人静かに過ごせる時間も増えます。スマホの代わりに本を開き、閉じた後は異空間で夢でも見てはいかがでしょうか。

## 2023・第77回読書週間 標語「私のペースで しおりは進む」



### お勧め本



#### 水車小屋のネネ（津村記久子）

家出ようと思うんだけど、一緒に来る？」身勝手な親から逃れ、姉妹で生きることになった理佐と律。ネネのいる水車小屋で番人として働き始める青年・聡。水車小屋に現れた中学生・研司…人々が織りなす希望と再生の物語。

「あなたの人権意識、大丈夫？ 差別については「思いやりが大事」という心の問題として捉えられることが多い。なぜ差別は「思いやり」の問題に回収され、その先の議論に進めないのか？ “優しい”人こそ知っておきたい差別に加担してしまわないために――。

差別は思いやりでは解決しない（神谷悠一）



精神的な不安をかかえ、常に自分をさげすむ頭の中の声“カオス”につぶされそうになっているミーリーン、なんでも笑いとはずふりをしながら、事故で父を失い自身も大けがを負った絶望から立ち直れずにいるカーラ、家族との関係に問題を抱えているオリヴィア。誰にも言えない思いを抱えた16歳の少女たちが出会ったのは――。  
ラスト・フレンズ（ヤスミン・ラーマン）



### 新着本案内 図書館入口より正面書架に新着図書コーナーがあります

連環のブルー	小石川将介
無職転生―異世界行ったら本気だす スペシャルブック	理不尽な孫の手
食われる国	萩耿介
清浄島	河崎秋子
産んでくれなんて頼んでないし	シオリーヌ
人生最後の日にガッツポーズして死ねるたったひとつの生き方	ひすい ことろう
あした死ぬかもよ？―人生最後の日に笑って死ねる27の質問	ひすい ことろう
声優になるには	山本健翔
情報学部	漆原次郎
眠れなくなるほど面白い図解 生物の話	廣澤瑞子
“私”が生きやすくなるための同意	遠藤研一郎
地球温暖化はなぜ起こるのか	真鍋淑郎 他
私たちはAIを信頼できるか	大澤真幸・川添愛
差別は思いやりでは解決しない	神谷悠一
お天気ハンター、異常気象を追う	森さやか

「くうき」が僕らを呑みこむ前に一脱サイレント・マジョリティー	山田 健太/たまむら さちこ	青の刀匠	天沢夏月
スマホはどこまで脳を壊すか	榊浩平・川島隆太	地図と拳	小川哲
『鈍色幻視行』	恩田陸	池上彰の「世界そこからですか!?!」	池上 彰
笑犬楼VS偽伯爵	筒井康隆・蓮見重彦	きみとホームで待ち合わせ	神戸遙真
月の立つ林で	青山美智子	教室を生きのびる政治学 犀の教室	岡田憲治
10代のうちに考えておきたい「なぜ?」「どうして?」	近藤雄生	ラスト・フレンズーわたしたちの最後の13日間	ヤスミン・ラーマン
川のほとりに立つ者は	寺地はるな	夜果つるところ	恩田陸
ママはきみを殺したかもしれない	樋口美沙緒	今夜、もし僕が死ななければ	浅原ナオト
怪盗フラヌールの巡回	西尾維新	グレイス・イヤー	キム・リゲット
光のところにいてね	一穂ミチ	階段ランナー	吉野万理子
街とその不確かな壁	村上春樹	<div data-bbox="1492 973 2664 1012" data-label="Text"> <p>さ・え・ら 去る8月17日に、令和5年度の高教研司書部夏季研修会に参加して来</p> </div> <div data-bbox="1520 1039 2554 1078" data-label="Text"> <p>ました。 講演：「学校図書館から始めるアクティブ・ラーニング」</p> </div> <div data-bbox="2134 1085 2546 1124" data-label="Text"> <p>講師：梅澤 貴典 氏(中央大学)</p> </div> <div data-bbox="1492 1132 2664 1470" data-label="Text"> <p>※ 参考図書紹介 『ネット情報におぼれない学び方』梅澤 貴典 インターネットで何でも情報が手に入る時代に、なぜ読書、なぜ図書館 なのか？ 生徒の皆さんにも伝えたい大事なことが内容いっぱいでした。次の3つがキーワードです 自分で「調べる」自分の頭で「考える」自分の言葉で「伝える」。情報の真偽を見極める ためにも幅広い基礎知識が必要です。図書館で様々なジャンルの書物や各紙によって意見 や論調が異なる新聞を読むことなど。情報の利用は読むことが基礎です。また、学校図書 館は三つのセンター機能を有します。読書センター・学習センター・情報センターこれら を改めて肝に銘じ皆さんの学校生活の支えになることを考えさせられた一日でした。</p> </div> <div data-bbox="1758 1497 2664 1599" data-label="Text"> <p>学校図書館法公布70周年記念事業として、全国SLAが募集し ていた「未来に広がる学校図書館」標語が決定しました。</p> </div> <div data-bbox="1767 1647 2636 1731" data-label="Text"> <p>「きのうの自分と あしたの自分を 今日変える 学校図書館」 (加古真優奈・高2)</p> </div>	
武器としての国際人権	藤田早苗		
タガヤセ! 日本「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます	白石優生		
ラブカは静かに弓を持つ	安壇美緒		
ある行旅死亡人の物語	武田惇志・伊藤亜衣		
黄色い家	川上未映子		
水車小屋のネネ	津村記久子		
蝶々の纏足・風葬の教室	山田 詠美		
ストロベリームーン	芥川なお		
忘れる読書	落合陽一		

